

懸賞論文受賞作発表!

「同僚ストレス」の 生々しい現実との つきあい方

愚痴を聞いてもらって仕事の苦労をわかちあったり、励ましてもらったりと、頼りになる同僚の存在は仕事を続けていくうえで不可欠のもの。しかし、頼みの綱であるはずの同僚との関係性が悩みの種になってしまったら?

昨年より募集していた懸賞論文の受賞作をいよいよ発表。「同僚ストレス」の傾向と対策、何よりそうした現実と付き合いながら生きていくための「わたしの方法」をご紹介します。

Opinion

Ai が普及しにくいほんとうの理由

田村浩一

Scope

アトピー性皮膚炎患者が求める看護と 「ステロイド」をめぐる自己決定

藤原由子

わたしたちはこうしている file 004

わたしの時間管理

朝田桃子

編・集・後・記

●最近、区役所などの公共機関で「土日開庁」をうたうところが増えています。ずいぶん便利になったものだな～と思っていたのですが先日、ある手続きで土曜日に行ったところ、「土日は係のものがおりませんので、とりあえずお預かりして、月曜日に手続きをいたします」との返事。そ、それじゃあ土日開庁の意味ないじゃないですか。基本的に区をまたぐようなタイプの手続きは「お預かり」になるとのこと。この場合、手続きに不備があった場合、もう一度出向かなければいけません。住民の要望に応えようとした試みであっても、財政・人の裏づけがないと有名無実のものとなってしまふ。こういうことは医療現場でもよくありますね。ただ、そうした「理念先行」状態を経ないことには、状況は改善されないということもあります。消費者としては温かく見守る姿勢も必要かもしれません。【鳥居】

●特集の匿名座談会で、新人をほめてあげることが帰属感の育成につながるとありました。私は、「ほめる」ことが苦手でした。ほめたいいんだけど、言葉がのどにひっかかって出てこない! という状態で、相手のことを認めてはいるのですが、どこか気恥ずかしい感覚があったのです。しかし、一念発起して「ほめる」トレーニングを開始したのです。「ほめる」ことが苦手なら、まずは感謝の気持ちを言葉に表す。そこから始めて、そのうち、照れることなく素直にほめられるようになりました。今では、オーバーなアクションを添えることもできます。しかし、うまくなりすぎた故に、嘘くさいと取られてしまうこともあるんです。いつまでたっても「ほめる」トレーニングは続きそうです。【吉田】

看護学雑誌 第73巻第3号 2009年3月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.71 No.2以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当/鳥居・吉田・白石) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/09/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複製につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。